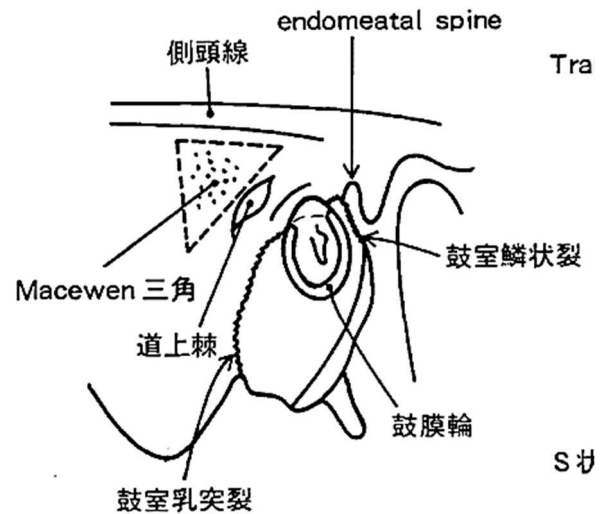
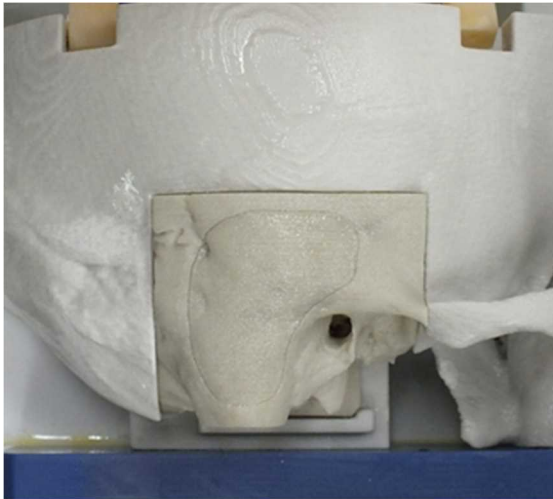


ハンズオン「耳科」マニュアル（研修医用）

ハンズオン前に、まず自分の所属校と名前を講師に伝える。

I. 側頭骨モデルの観察

インストラクターより側頭骨表面の解剖、内視鏡を使って鼓室内の解剖の説明を受ける。



参考文献： 山本悦生：研修ノート 側頭骨の解剖. 耳鼻臨床 80: 168-169, 1987

II. 顕微鏡、ドリル、吸引管などの操作方法

上記に対する操作方法の説明を受ける。側頭骨の削開に関しては、基本的に水は使わずに削開し、貯まった骨粉はエアースプレーで排出する。

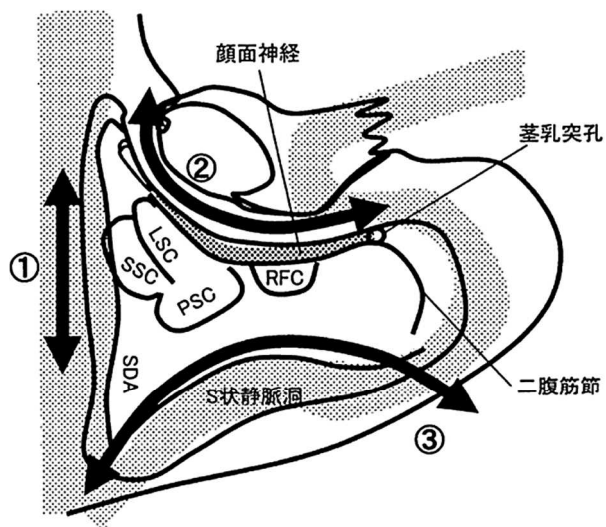
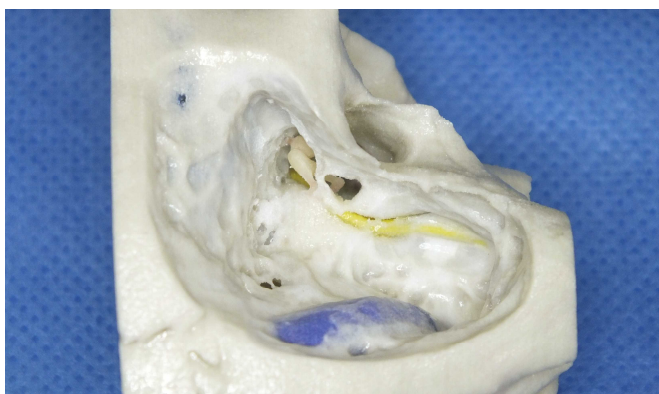
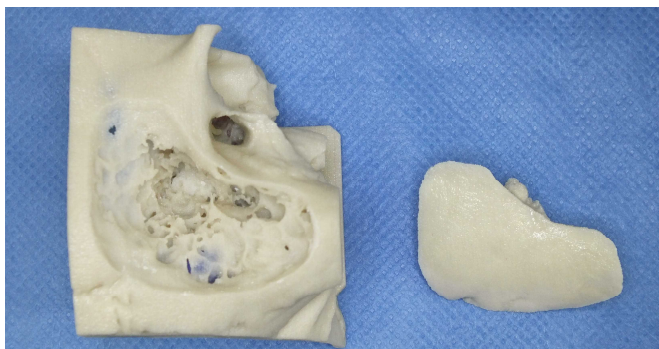
III. 側頭骨モデルの削開開始

Macewen の三角形の皮質骨部分より削開を始め、蜂巣構造が見えるぐらいまで削開する。

IV. 皮質骨フタのパーツを外し、蜂巣を削開

- 上鼓室の開放。外側半規管隆起とキヌタ骨の確認
- 顔面神経垂直部の skeletonize。さらには後鼓室開放、キヌタ-アブミ関節、正円窓小窩の確認。適宜、内視鏡を用いて確認。

c. S 状静脈洞の skeletonize。



3 削開の方向

- ①：Y 軸と平行に中頭蓋窩直下の骨を面として削開する。
 - ②：外耳道の曲線に沿って後壁を薄くする。
 - ③：外側の骨を広く浅く掘り下げて，S 状静脈洞の輪郭を露出する。
- LSC：外側半規管，SSC：上半規管，PSC：後半規管，SDA：隅角部，RFC：retrofacial cell

参考文献： 山本 裕：研修ノート 乳突削開のコツ．耳鼻臨床 101：408-409，2008

参加者：4名 / 30分 1サイクル